厨房機器 厨房システム データシート【品質性能概要】 <評価基準>

	I	頁 目		単 位 等	評価基準	事由
2	- 般 事 項					
	1)床又は壁にアンカー 固定できるような補強及		熱調理器又は高さが 1.0mを超える機器		補強及び固定金具等を具備	仕
	具を具備		特記のある機器		補強及び固定金具等を具備	仕
	2) 都市ガス及び液化石 財)日本ガス機器検査協				(一財)日本ガス機器検査協会の合格証票が貼付されたも の	仕
	3) 電気用品安全法に おける特定電気用品以 外の電気用品に該当	経済産業	省への届け出		届け出	仕
	機器の定格消費電力 の算出は(「業務用厨	技術基準	への適合性確認		適合	仕
	房熱機器等性能測定 基準」(一社)日本厨房 工業会)による。)	試験記録	 の保持		保持	仕
		製品への			表示	仕
	4) 給水・給湯装置を有 令、「給水装置の構造及 成9年厚生省令第14号)	び材質の	基準に関する省令」(平		適合	仕
	5) ボイラーまたは圧力 法、同施行令または「ボ (昭和47年労働省令第3 定めるところによっている	イラー及び 3号)の対			適合	仕
	6) 加工工法 甲板及び外側板に使用ステンレス鋼材の見え掛り部の表面仕上げ				No.4研磨(JISR6001-1(研削といし用研磨材の粒度-第一部:粗粒)F150~180)、磨き仕上げ(JIS R 6001-2「研削といし用研削材の粒度-第二部:微粉#240以上)又はそれらの表面仕上げに合成樹脂コーティング	仕
3. 🖪	申請品構造	I				
		はんだ(食 による)	き器洗浄機は当該項目		食品が直接触れる部分に、鉛を含むはんだを使用していない い	JFEA
	材料	潤滑油(1による)	食器洗浄機は当該項目		食品が直接触れる部分に使用潤滑油(品名)は、食品添加物(品名)の認可を受けている	JFEA
			露出部または露出可能部		容易に清掃ができる	JFEA
		清掃性(洗浄機) 該項目(る)	は当		全ての固定された隙間は、1mm以下であるか、「JFEA付属書001Aに規定試験用アーム」の先端が届く十分な広さがある(但し、通常の使用時に常時130℃以上に保たれるレンジ、フライヤー、炊飯器、オーブンを除く。また、食品が直接にも間接にも汚染されず、食品が垂れる等してバクテリア増殖の影響がない部分を除く)	JFEA
		ごみが留まりにくい構造			ほこり、ごみ、液体等が進入しにくく、留まらず、付着しにくい構造である	JFEA
共		有害小動	物の排除		有害小動物の侵入・繁殖ができない構造か、確認可能で駆除・清掃ができる	JFEA

	1	項目		単 位 等	評 価 基 準	事由
通			厨房機器部材等の欠 落		欠落せず、欠落しても食品に混入しない構造	JFEA
1	構 造 (一般)	混入の防止	潤滑剤等の漏れ		厨房機器内の潤滑剤等や機器性能を維持ために必要な物質は、食品が直接触れる部分には漏れない構造または装置がある (食品に直接混入恐れのある部分に、熱及び経年変化により剥離を起こす素材、コーティング剤等が使用されていない事)	JFEA
		止め具			ねじ、ボルト、リベット類は極力少なく、且つ容易に清掃ができる(但し、熱湯殺菌方式食器洗浄機で通常の使用時に洗浄液およびすすぎ液にさらされる部分を除く)	JFEA
			人体に触れる部分		触れてもけがの無いような仕上げか、防護措置	JFEA
		使用者 の安全	回転機構・駆動機構・ 刃物を有機器		安全装置や安全機構、または代替え機能	JFEA
			安全の担保手段		二重安全の仕組みがある(望ましい)	JFEA
			構造·部材		長寿命・再使用・資源循環に配慮している	JFEA
		環境保 護	分別		材料種別に分解し易い	JFEA
			材料名の表示		表示	確
		食品の 貯蔵部 分と付属 品	有害小動物・塵埃・水 はね・垂れた液体の侵 入防止		侵入を防止	JFEA
			全ての部分の視認または確認		視認しやすく容易に手が届くか、取扱説明書の説明で容易 に取り外しまたは分解	JFEA
			清掃後の確認		視認や触診等で確認	JFEA
共		内側の角	および隅の形状		120度以下の場合は、半径が5mm以上の曲面で滑らかである、但し、後付材料により形成した曲面で隙間があるものは認められない。また、コーキング材による形成も認められない。	JFEA
通	構造(食品が直接触れ る部分)	部品その他構	全体		全て滑らかである	JFEA
2		造物による凹凸 形状	角および隅		曲面で曲率半径は5mm以上であるか、機能上かつ自動清掃が可能なため5mm未満	JFEA
		接合部 の処置	通常の使用時に常時 130℃以上に保たれる レンジ、こんろ、フライ ヤー、炊飯器、オーブ ン		すべての部分が滑らかである	JFEA
			上記以外		隙間が無く滑らかである	JFEA
		ねじ等の	露出防止		ねじ、ボルト、リベットの頭、ナット、スタッドは露出していない	JFEA

		項目		単 位 等	評価基準	事由
		機器下	脚部がある場合		床上150mm以上空間がある(移動式または移動可能な機器は除く)	JFEA
		方の高さ	台置き式機器の場合		設置面と機器本体の最下部までの高さが100mm以上ある	JFEA
		脚部の	清掃性		凹凸が少なく、容易に清掃ができる	JFEA
		形状	ねじの状態		アジャスターのねじ山が露出しない	JFEA
		キャスタの)形状		ごみが溜まりにくく、容易に清掃できる	JFEA
		引き出し	取り外しの可否		可能である	JFEA
	構造(各部)	Лещо	ストッパーの設置		設けている	JFEA
		水切り面	固定式容器、水切り台、水切り棚の底面		十分な勾配を有している	JFEA
			排水性		よい	JFEA
			扉レール、溝、桟などの 取り外しの可否		可能	JFEA
		溝	掃き出し口、掃き出し孔 の設置		上記が不可の場合には「設ける」	JFEA
共通			掃出し孔からのゴミ等の 清掃		中途に引っかかる部分が無く清掃できる構造	JFEA
通3			小動物やゴミの侵入経 路		ならない構造	JFEA
			扉の裏側、側板の周囲 等に掃き出し口や掃き 出し孔の設置		設けている	JFEA
		折り返し	掃出し孔からのゴミ等の 清掃		中途に引っかかる部分が無く清掃できる構造である	JFEA
			小動物やゴミの侵入経 路		ならない構造	JFEA
			つまみ、取手、蝶番、 ラッチ等の清掃性		ごみが溜まりにくく、容易に清掃できる	JFEA
	構造(各部)	蓋や開 閉機構	蝶番回転部の管部(抜き差し蝶番を除く)		3ヵ所以内	JFEA
			取手の差込部		下向きか横向き	JFEA
		配管•配約	泉等の開口部の清掃性		点検が容易で、清掃	JFEA
		配管•配約	泉部の開口部		配管・配線部の外形の1.2倍(1.2D)以下	JFEA
		通気口	設置場所		食品が直接触れない部分に設けている	JFEA
		(地)	構造•部材		ごみが内部に侵入しにくい	JFEA
	強度	通常使用時の機器および共通部材			破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA

		:	項目			単 位 等	評 価 基 準	事由
		製造者代表形式形	潘				製造者標準	確
		外形寸法				mm	製造者標準	確
		重量					製造者標準	確
			材質				ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
		槽	板厚			mm	1.2mm以上	仕
			強度				JFEA付属書002Aに適合している(代表機種は試験結果を 提出)	JFEA
板		水切り	材質				ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
金	流		板厚			mm	1.2mm以上	仕
製品 1	L	補強材	材質				ステンレス形鋼(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼)) 厚さ3.0mm以上、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造 用ステンレス鋼鋼管))厚さ1.0mm以上、又はステンレス鋼 板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))厚さ 1.0mm以上	仕
			板厚			mm		仕
		脚部	形状厚さ				ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
						mm	1.0以上	仕
			アジャスター	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA	
				調整範囲	mm		確	
			すのこ(木	才質•板厚)		ステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))厚さ0.8mm以上、又はステンレス鋼管(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))厚さ0.8mm以上	仕
					材質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
				本体	板厚	mm	1.0mm以上	仕
					有無		標準取付品	仕
				アジャスター	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミ	仕・JFEA
		流し下部			調整範囲		ニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	確

]	項 目			単位等	評価基準	事由
板			戸棚		材質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
金製	流			戸	板厚	mm	0.8mm以上	仕
品	L				開閉方式		引き違い戸	仕
1					段数		2段	仕
					材質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
				棚板	板厚	mm	1.0mm以上	仕
					取付枚数		作業台と吊り戸棚には1枚以上	仕
					間隔調整		棚板の間隔を調整できる	仕
			形状				フランジ、ユニオン、ねじ接合等	確
		接続管	規格				JISB2220(鋼製管フランジ)、JIS B 0202(管用平行ねじ規格)等での接続が可能	確
		付 属 品	流しトラップ(共栓、鎖とも)				標準付属品、トラップは合成樹脂製	仕
		门 /禹 吅	オーバー	フロー			標準付属品	仕
		強 度					JFEA付属書002Aに適合している(代表機種は試験結果を 提出)	JFEA
		製造者代表形式形番					製造者標準	確
		外形寸法					製造者標準	確
		重量					製造者標準	確
		甲板	材質				ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
板			板 厚			mm	1.2mm以上	仕
金製	作業	補強材	材質				ステンレス形鋼(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼)) 厚さ3.0mm以上、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造 用ステンレス鋼鋼管))厚さ1.0mm以上、又はステンレス鋼 板(JIS G 4305)厚さ1.0mm以上	仕
品 2	台		板厚			mm		仕
			形状				ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		脚部	厚さ			mm	1.0mm以上	仕
			711	b-1	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
			アジャスク	y —	調整範囲	mm		確

		1	項目			単位等	評価基準	事由
			すのこ(木	才質•板厚)	mm	ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))厚さ0.8mm以上又はステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))厚さ0.8mm以上	仕
			引き出し	(材質•板)	厚)	mm	特記付属品、厚さ1.0mm以上のステンレス鋼板(JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
				本体	材質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
					板厚	mm	1.0mm以上	仕
					有無		標準取付品	仕
				アジャスター	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミ	仕・JFEA
板金製品	作	作業台下部			調整範囲		=ウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	確
品 2	業台		戸棚		材質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
				戸	板厚	mm	0.8mm以上	仕
)-	開閉方式		引き違い戸	仕
					段数		1段	仕
					材質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
				棚板	板厚	mm	1.0mm以上	仕
					取付枚数		作業台と吊り戸棚には1枚以上	仕
					間隔調整		棚板の間隔を調整できる	仕
		強 度					JFEA付属書002Aに適合している(代表機種は試験結果を 提出)	JFEA
		製造者代表形式形 外形寸法	番			mm	製造者標準 製造者標準	評 評
		重量					製造者標準	評
		本 体	材質				ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
			板厚			mm	1.0㎜以上	仕
			有無				標準取付品	仕
		アジャスター	材質	-			標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
			調整範囲	1		mm		評
板		_	材質				ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
金	戸	戸	板 厚開閉方式	<u>, </u>		mm	0.8mm以上 引き違い戸	仕
製			段 数				作業台と吊り戸棚に設置は1段、他は2段	仕

		I	頁 目		単 位 等	評価基準	事由
品	棚		材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
2		棚板	板厚		mm	1.0mm以上	仕
		10.4	取付枚数			作業台と吊り戸棚には1枚以上	仕
			間隔調整			棚板の間隔を調整	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房板金製品基準(JFER002)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		745 - 145	通常使用時の	機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		強度	材	WALL TO SO Y II CHI		JFEA付属書002Aに適合している(代表機種は試験結果を提出)	JFEA
製		製造者代表形式形	番			製造者標準	評
		外形寸法				高さ2200以下	仕
		重量				製造者標準	評
		棚一段あたりの最大	に荷重 		kg	250kg以下 ステンレス形鋼(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形	仕
		骨組及び補強材	材質			(JIS G 431 (熱間成形ペランレス鋼形 鋼))、ステンレス鋼管製(JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))	仕
			厚さ			形鋼は3.0mm以上、鋼管は1.0mm以上	仕
		棚方式(すのこ、棚板又は金属網棚)	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
				板 厚	mm	1.0mm以上	仕
			棚板	材質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
		1000 (100 111 111 111 111 111 111 111 11		板 厚	mm	1.0mm以上	仕
	棚		金属網棚	材質		ステンレス鋼棒(JIS G 4303(ステンレス鋼棒))	仕
				直 径	mm	3.0mm以上	仕
			有 無			標準取付品	仕
		アジャスター	材質			標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
			調整範囲		mm		評
		その他「材料及びそ	その他「材料及びその使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房板金製品基準(JFER002)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
			通営毎田畦の	機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		強度	材	/ ※旧4040 大旭印		JFEA付属書002Aに適合している(代表機種は試験結果を 提出)	JFEA

]	項目		単 位 等	評価基準	事由
		製造者代	表形式形	番			製造者標準	評
		外形寸法					製造者標準	評
		重量					製造者標準	評
		燃焼装置 使用ガス種類 ガス消費量				1-337	製造者標準 製造者標準	評評
				ルク付貨里	\+\#\\ ↑ ↑ 	kW		
		こんろ部	立ち消え	安全装置	装備の有無		特記により装備	仕
					機能概要			評
			立ち消え	安全装置	装備の有無 機能概要		標準装備	仕
		オーブン 部						評
		司)	過熱防止	装置	装備の有無		特記により装備	仕
		機能概要			機能做安			評
		上面の形状					丸五徳型か、全面五徳型	仕
		甲 极	ī.	材質			丸五徳型: 鋳鉄製(JIS G 5501(ねずみ鋳鉄品), JIS G 5121(ステンレス鋼鋳鋼品))で厚さ10mm以上又はステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))の厚さ2.0mm以上 全面五徳型: 上面の五徳を除きステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))の厚さ1.2mm以上	仕
				板 厚				仕
		外側板		材質			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
				板 厚		mm	0.8mm以上	仕
				仕 上			鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
熱調理	ガスレ	外後有	反	材質			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)),溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3317(溶融亜鉛・5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
器 1	ンジ			板厚		mm	0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき 鋼板は1.0mm以上	仕
				仕 上			鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
		内側板	万	材質			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板 (JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
				板厚		mm	1.0㎜以上	仕
				仕 上			鋼鈑製:ホーロー	仕
				形状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		脚 部	ζ	厚さ		mm	1.0㎜以上	仕
				マンシ・コト	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
				アジャスター	調整範囲	mm		評

			項目		単 位 等	評 価 基 準	事由
			五 徳 (材質)		標準附属品(鋳鉄製JIS G 5501(ねずみ鋳鉄品), JIS G 5121(ステンレス鋼鋳鋼品))	仕
			天 板(材質、	枚数)		標準附属品(鋼板製でオープン1窓につき1枚)	仕
		附属品	焼 網(材質、	枚数)		標準附属品(棒鋼製でオープン1窓につき1枚)	仕
			点火棒			必要がある場合	仕
			天板取出し用]金具		標準附属品(1個)	仕
熱調理器	ガスレ	その他「材料及び	その他「材料及びその使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
1	ンジ	強度	通常使用時 <i>0</i> 材)機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式用	形番			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量	T		kg	製造者標準	評
			電源(相·電 容量	王)	1 3 3 7	製造者標準	評 評
		電源関係		±.	KW	製造者標準製造者標準	
			電源接続方法				評
		オーブン 過熱防」				特記により装備	仕
		H		機能概要		And the Control of th	評
	甲板		材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚			1.2mm以上	仕
			材 質 板 厚 仕 上			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		外 側 板				0.8mm以上	仕
						鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
		外後板	材質			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)),溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3314(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
熱	電		板厚		mm	0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき 鋼板は1.0mm以上	仕
調	気		仕 上			鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
理 器	レ ン ジ 内 側 板			鋼飯製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板 (JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕		
2		内	板厚				
2		[P] 則 仮	板厚		mm	1.0㎜以上	仕

			項目		単位等	評価基準	事由
		脚 部	形状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			厚さ		mm	1.0mm以上	仕
			アジャスター	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
				調整範囲	mm		評
			天 板(材質、核	(数)		標準附属品(鋼板製でオープン1窓につき1枚)	仕
		附属品	焼 網(材質、核	(数)		標準附属品(棒鋼製でオープン1窓につき1枚)	仕
			天板取出し用金	:具		標準附属品(1個)	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強度	通常使用時の機 材	といるというとのというというというというというというというというというというというというというと		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式用	ド番			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
		燃焼装置 使用ガス種類				製造者標準	評
			ガス消費量		kW	製造者標準	評
		立ち消え安全装置	Ī.	表備の有無		特記により装備	仕
			<u> </u> 천	幾能概要			評
		上面の形状				丸五徳型か、全面五徳型と。	仕
			材 質			丸五徳型: 鋳鉄製(JIS G 5501(ねずみ鋳鉄品), JIS G 5121(ステンレス鋼鋳鋼品))で厚さ10mm以上又はステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))の厚さ2.0mm以上全面五徳型: 上面の五徳を除きステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))の厚さ1.2mm以上	仕
		甲 板	板厚		mm		仕
		外側板	材質			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		/ F I P J 17X	板 厚		mm	0.8mm以上	仕
熱	ガステ		仕 上			鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
調理器3	ーブルレ		形状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒 (円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
	ンジ	min der	厚さ		mm	1.0mm以上	仕
		脚部	アジャスター	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFE
				調整範囲	mm		評

		:	項 目	単 位 等	評価基準	事由
		補強材	材 質		ステンレス形鋼(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼)) 厚さ3.0mm以上、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造 用ステンレス鋼鋼管))厚さ1.0mm以上、又はステンレス鋼 板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))厚さ 1.0mm以上で鋼管製の補強材と同等の構造を形成	仕
			厚さ	mm		仕
		特記がある場合の付属品	すのこ 材質		ステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及 び鋼帯))又はステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ス テンレス鋼鋼管))	仕
			板 厚	mm	0.8mm以上	仕
		附属品	点火棒		必要がある場合	仕
		その他「材料及びる	その使用」及び「構造」		業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
		強 度	通常使用時の機器および共通部 材		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形	潘		製造者標準	評
		外形寸法		mm	製造者標準	評
		重量		kg	製造者標準	評
		電源関係	電 源 (相·電圧)		製造者標準	評
			容量	kW	製造者標準	評
			電源接続方法		製造者標準	評
		甲板	材 質		ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		外側板	材 質		1.2mm以上 鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯), JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板厚	mm	0.8mm以上	仕
熱	電		仕 上		鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
調理	気テーブ		形状		ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
器	ルレ	脚部	厚さ	mm	1.0mm以上	仕
4	レンジ		材質 アジャスター	mm	標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA 評
		補 強 材	材 質		ステンレス形鋼(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼)) 厚さ3.0mm以上、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))厚さ1.0mm以上、又はステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))厚さ1.0mm以上で鋼管製の補強材と同等の構造	仕
			厚さ	mm	を形成	仕

		1	項目		単 位 等	評価基準	事由
		特記がある場合の 附属品	すのこ	材質		ステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))	仕
				板 厚	mm	0.8mm以上	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強 度 通常使用時の機器および共通部 材				破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形番				製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
		燃焼装置			製造者標準	評	
		が元素単 ガス消費量		装備の有無	kW	製造者標準 標準装備	評仕
		立ち消え安全装置		機能概要		保毕教 佣	評
		過熱防止装置		装備の有無		標準装備	仕
				機能概要			評
	ガ	空焚き防止装置		装備の有無		特記により装備	仕
熱	ス			機能概要			評
調	揚物	油温度調節装置	ı				評
理	器	槽	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
	フ		材質			1.0mm以上	仕
器 5	ライヤ	外 側 板				ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
	\smile		板厚		mm	0.8mm以上	仕
		外後 板	材質 板厚			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯), JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
						0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき 鋼板は1.0mm以上	仕
			仕 上			鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
			形状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		脚 部	厚さ		mm	1.0mm以上	仕
			アジャスター	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕•JFEA
				調整範囲	mm	フニンルラ畑中(HO O 400F/小田 アオー・・・ - /畑上サー・	評
**	ガ	化粧板(見え掛かり部)	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
熱	ス 揚		板厚		mm	0.8mm以上	仕
調	物器		油缶、油こし組	到		標準附属品	仕
理品	<u></u>		すくい網			標準附属品	仕
器	ライヤ	附属品	油切袖板、油	切網		標準附属品 標準附属品 ステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステ	仕
5	ヤ		ふ た(ステン	レス鋼板製)		標準附属品 スプンレス輌板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			仕切網			標準附属品	仕

		:	項 目		単 位 等	評価基準	事由
		その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強度	通常使用時の根 材	目時の機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形	潘			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量				製造者標準	評
			電源(相·電圧 容量)	1,117	製造者標準 製造者標準	評評
		加熱装置	電源接続方法		KVV	製造者標準	仕
			装備の有無			標準装備	
		過熱防止装置		表価の有無 機能概要		標準表 爛	仕 評
		空林 * 27 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2	装備の有無		特記により装備	仕
		空焚き防止装置	機能概要				評
		油温度調節装置		77112 7707			評
		槽	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
			板 厚		mm	1.0mm以上 ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び	仕
		外侧板	材質			(月15 G 4303 (仕
		外側板	板厚		mm	0.8mm以上	仕
	電気		材質			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯), JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
熱		外 後 板	板厚		mm	0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき 鋼板は1.0mm以上	仕
調理	揚物器		仕 上			鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
器 6	(フライヤ		形状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
)	脚 部	厚さ	1	mm	1.0mm以上	仕
			アジャスター	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFE <i>A</i>
				調整範囲	mm		評
		化粧板(見え掛かり部)	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板厚		mm	0.8mm以上	仕
			油缶、油こし網			標準附属品	仕
			すくい網		L	標準附属品	仕
		附属品	油切袖板、油切	刀網		標準附属品	仕
			ふ た(ステンレ	ス鋼板製)		標準附属品 ステンレス鋼板製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
i l			仕切網			標準附属品	仕

		:	項目		単 位 等	評価基準	事由
		その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強度	通常使用時の 材	機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形	潘			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
		燃焼装置	使用ガス種類		110	製造者標準	評
		於 稅表直	ガス消費量		kW	製造者標準	評
		立ち消え安全装置		装備の有無		標準装備	仕
				機能概要		→邢 ※ → → / #±	評
		自動消火装置		装備の有無 機能概要		標準装備	仕評
		庫内	材質	MICHA		鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板製(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm	1.0mm以上	仕
			仕 上			鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
		か	材質			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		外側板	板 厚		mm	0.8mm以上	仕
			塗 装			鋼鈑製:耐熱塗装またはホーロー仕上げ	仕
熱調理		外後 板	材 質			鋼飯製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
器 7	体炊飯器		板厚	板 厚		0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき 鋼板は1.0mm以上	仕
	<u> </u>		仕 上			鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
			形状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		脚部	厚さ		mm	1.0mm以上	仕
			アジャスター	材質調整範囲	mm	標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA 評
		扉部の化粧板	材質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
1			板 厚		mm	0.8mm以上	仕

		:	項目	単 位 等	評価基準	事由
		附属品	炊飯鍋		標準附属品(アルミニウム合金製又はステンレス鋼板製、1窓につき1個)	仕
			炊飯鍋蓋		標準附属品(アルミニウム合金製、1鍋につき1個)	仕
		その他「材料及びる	その使用」及び「構造」		業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
		強度	通常使用時の機器および 材	共通部	破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形	潘		製造者標準	評
		外形寸法			製造者標準	評
		重量		kg		評
			電源(相·電圧) 容量	kW	製造者標準製造者標準	評評
		電気関係		KVV		
			電源接続方法		製造者標準	評
		庫 内	材質		鋼飯製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板製(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚	mm	1.0mm以上	仕
		1	仕 上		鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
		外側板	材質		鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		7 1 103 100	板 厚	mm	0.8mm以上	仕
			塗 装		鋼鈑製:耐熱塗装またはホーロー仕上げ	仕
熱調理	電気炊飯器(外後 板	材質		鋼飯製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
器	立体炊飯		板 厚	mm	0.8mm以上、溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき 鋼板は1.0mm以上	仕
8	器		仕 上		鋼鈑製は耐熱塗装仕上げ	仕
			形状		ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		脚 部	厚さ	mm	1.0mm以上	仕
			オ 質アジャスター		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
			調整領	節囲 mm		評

			項目		単 位 等	評 価 基 準	事由
		扉部の化粧板	材質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
			板 厚		mm	0.8mm以上	仕
		附属品	炊飯鍋			標準附属品(アルミニウム合金製又はステンレス鋼板製、1窓につき1個)	仕
			炊飯鍋蓋			標準附属品(アルミニウム合金製、1鍋につき1個)	仕
		その他「材料及び	その使用」及び	「構造」		業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA
		強度	通常使用時の 材	機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式用	形番			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
		燃焼装置	使用ガス種類			製造者標準	評
		が死 死 里	ガス消費量		kW	製造者標準	評
		立ち消え安全装置	装備の有無			標準装備(手動点火式で常時炎が確認できる物を除く)	仕
		立り付ん女主教国	ス女主装直 機能				評
				装備の有無		特記により装備(オーブン型に限る。)	
		過熱防止装置				付記により表開(オープン生に取る。)	仕
				機能概要			評
		外側板	材質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
			板 厚		mm	0.8mm以上	仕
		外後 板	材質			溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯),溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚		mm	溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm 以上、ステンレス鋼板製は0.8mm以上	仕
理	ガス焼物器	内 側 板	材質			鋼鈑製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板製(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
9			板厚		mm	鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上、ステンレス鋼鈑0.8mm以上	仕
			仕 上			鋼鈑製:耐熱塗装またはホーロー仕上げ	仕
		更如の小料 は	材質			ステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
		扉部の化粧板	板厚		mm	 到情)) 0.8mm以上	仕
		棚網(材質、枚数)	オーブン形、	スチーム今べくショ 含む、但しホテルパ 備ものは除く		1枚以上、仕様は製造者標準	仕

			項目		単 位 等	評価基準	事由
		自動温度調節装置	<u> </u>			オーブン形には設ける	仕
		ナナ レ ぶいか 谷	オーブン形		分	庫内が室温から設定可能な最高温度に達時間は30分以内	仕
		立ち上がり性能開放形			分	発熱体温度が室温から調理可能な温度に達時間は10分以 内	仕
		その他「材料及び	その他「材料及びその使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
		強度	通常使用時の 材	機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式用	多番			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
,			電源(相·電)	E)		製造者標準	評
		電源関係	容 量		kW	製造者標準	評
			電源接続方法			製造者標準	評
		過熱防止装置		装備の有無		特記により装備(オーブン型に限る。)	仕
			1	機能概要			評
		外側板	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
			板厚		mm	0.8mm以上	仕
		外後 板	材質			溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)),溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚			溶融亜鉛めっき鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm 以上、ステンレス鋼板製は0.8mm以上	仕
熱調理器	電気焼物器	内 側 板	材質			鋼飯製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)), 溶融アルミニウムめっき鋼板製(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯), JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
1 0			板 厚		mm	鋼板、溶融アルミニウムめっき鋼板は1.0mm以上、ステンレス鋼鈑0.8mm以上	仕
			仕 上			鋼鈑製:耐熱塗装またはホーロー仕上げ	仕
		扉部の化粧板	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
			板 厚		mm	0.8mm以上	仕
		棚網(材質、枚数)		スチーム今べくショ 含む、但しホテルパ 備ものは除く		1枚以上、仕様は製造者標準	仕

	項目					評価基準	事由
		自動温度調節装置	Ī			オーブン形には設ける	仕
		オーブン形立ち上がり性能				庫内が室温から設定可能な最高温度に達時間は30分以内	仕
		立ち上かり性能		開放形	分	発熱体温度が室温から調理可能な温度に達時間は10分以 内	仕
		その他「材料及びる	構造」		業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6.「材料及びその使用」及び7.「構造」の確項目	JFEA	
		強度	材	機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形	番			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
熱		重量	The same		kg	製造者標準	評
量田		燃焼装置 使用ガス種類 ガス消費量 立ち消え安全装置 装備の有無			1-117	製造者標準製造者標準	評評
調	ガ			VII. 644 - 2 C-	KW		
理	え煮					標準装備(手動点火式で常時炎が確認できる物を除く)	仕
器	炊			機能概要			評
石計	器	温热性心壮黑	近装置装備の有無			特記により装備	仕
1		過熱防止装置		機能概要			評
1		過圧防止装置		装備の有無		標準装備(加圧式に限る)	仕
				表 佣 少 月 杰		(赤年衣俑 (加圧丸に)なる)	714
				機能概要			評
		釜	材質			鋳鉄製(JIS G 5501(ねずみ鋳鉄品))、ステンレス鋳鋼製(JIS G 5121(ステンレス鋼鋳鋼品))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))又はJIS H 4000(アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)、JIS H 5202(アルミニウム合金鋳物)製	仕
			板厚		mm	3.0mm以上、ステンレス鋼鈑2.0mm以上、アルミニウム合金 4.0mm以上	仕
			仕 上			鋳鉄製は防錆処理	仕
熱調	.1%	釜支持構造物	材質			一般構造用形鋼製(JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材))又は鋳鉄製(JIS G 5501(ねずみ鋳鉄品))、ステンレス形鋼製(JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼))又はステンレス鋳鋼製(JIS G 5121(ステンレス鋼鋳鋼品))、ステンレス鋼管製(JIS G 3459(配管用ステンレス鋼鋼管))	仕
理	ガス煮		板 厚		mm	形鋼製・鋳鉄製は3.0mm以上、ステンレス鋼管製は1.0mm 以上	仕
器	炊釜		仕 上			鋼材又は鋳鉄製は防錆処理	仕
1		この44の様と生物	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
		その他の構造物	板厚		mm	0.8mm以上	仕
		立ち上がり性能				釜を水道水とほぼ同じ温度の水で定格容量(表示のない場合は、最大容量時の深さ70%の深さの量)に満たした状態から、沸騰状態に達時間は60分以内	仕

			項 目		単 位 等	評価基準	事由
		その他「材料及びる	その使用」及び	「構造」		業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
		強度	通常使用時の材	機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形	多番			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
			電源(相·電)容量	王)	kW	製造者標準製造者標準	評評
		電源関係	電源接続方法		17.4.4	製造者標準	評
			电1///1女//////				PT.
		過熱防止装置				特記により装備	仕
				機能概要			評
		過圧防止装置		装備の有無		標準装備(加圧式に限る)	仕
				機能概要			評
		公 並	材質			鋳鉄製(JIS G 5501(ねずみ鋳鉄品))、ステンレス鋳鋼製(JIS G 5121(ステンレス鋼鋳鋼品))又はステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))又はJIS H 4000(アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)、JIS H 5202(アルミニウム合金鋳物)製	仕
熱	電気煮		板厚		mm	3.0mm以上、ステンレス鋼鈑2.0mm以上、アルミニウム合金 4.0mm以上	仕
調理			仕 上			鋳鉄製は防錆処理	仕
器 1 2	炊釜	釜支持構造物	材質			一般構造用形鋼製(JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材))又 は鋳鉄製(JIS G 5501(ねずみ鋳鉄品))、ステンレス形鋼製 (JIS G 4317(熱間成形ステンレス鋼形鋼))又はステンレス 鋳鋼製(JIS G 5121(ステンレス鋼鋳鋼品))、ステンレス鋼管 製(JIS G 3459(配管用ステンレス鋼鋼管))	仕
			板厚		mm	形鋼製・鋳鉄製は3.0mm以上、ステンレス鋼管製は1.0mm 以上	仕
			仕 上			鋼材又は鋳鉄製は防錆処理	仕
		その他の構造物	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
			板 厚		mm	0.8mm以上 釜を水道水とほぼ同じ温度の水で定格容量(表示のない場	仕
		立ち上がり性能	能			金を小垣水とはは同じ温度の水でた格谷単(衣水のない場合は、最大容量時の深さ70%の深さの量)に満たした状態から、沸騰状態に達時間は60分以内	仕
		その他「材料及びる	その使用」及び	「構造」		業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房熱器機基準(JFER003)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
		強度	通常使用時 <i>0</i> 材)機器および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形	 多番			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評

			:	項目		単位等	評 価 基 準	事由
		44 世	i方式	殺菌方式			熱湯殺菌方式である	評
		1X I	17724	構造分類			コンベア式又はバッチ式	評
		カロ麦切	方式	熱源の種類			製造者標準(ガス、電気)	評
		カロボ	()) 1(容量		kW	製造者標準	評
				予備洗浄領域	战最低温度	$^{\circ}$ C	製造者標準	評
				洗浄領域最低		$^{\circ}$ C	最低温度60℃	JFEA
		温度	条件	循環すすぎ領		$^{\circ}$	最低温度65℃	JFEA
				仕上げすすき 度	領域最低、最高温	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	最低温度80℃、最高温度90℃	JFEA
		立ち	消え安全装置	装備の有無			電気加熱を除き標準装備	仕
		\n +4	. m.l		機能概要 装備の有無		標準装備	評仕
		過烈	以防止装置		機能概要			評
		洗浄タンク					設ける	JFEA
		仕上	:げすすぎタン:	フ			設ける	JFEA
		仕上	げすすぎ液温	度測定箇所			仕上げすすぎノズルに流れ込む液の温度を、ノズルから 1.5m以内で測定して表示している	JFEA
		温度	表示装置の測	定範囲の表示	:		製造元指定の最低水温または適温範囲を表示している(又は他の方法で示している)	JFEA
		加熱	システム(仕上	げすすぎ用熱	交換器の能力)		連続運転時に、仕上げすすぎ温度を80~90℃に保つ容量 がある	JFEA
食	食器	汚れ	除去の効果の	確認試験方法			JFEA007-2007付属書007Aに適合している	JFEA
器	^4 -	殺菌の効果の確認試験方法					JFEA007-2007付属書007Aに適合している	JFEA
洗净	:機(熱湯		はんだ				洗浄液およびすすぎ液にさらされる部分に、鉛を含むはん だを使用していない	JFEA
機	% 殺菌方式		潤滑油				洗浄液およびすすぎ液にさらされる部分に使用潤滑油(品名)は、食品添加物(品名)の認可を受けている	JFEA
	X)	料 1	槽	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
		1		板厚		mm	1.0mm以上	仕
			外装、扉、網板	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
				板厚		mm	0.8mm以上	仕
			補強材	材質			ステンレス形鋼(JIS G 4317)、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管)) 又はステンレス鋼鈑 (JIS G 4305)によるステンレス鋼管製の補強材と同等の構造に形成	仕
		材		板厚		mm	 1.0mm以上、形鋼は3.0mm以上	仕
		料		形状		111111	ステンレス鋼管 (JIS G 3446 (機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒 (円錐状) に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		2	脚部	厚さ		mm	1.0㎜以上	仕
			19~~		材質	111111	標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
				アジャスター	調整範囲	mm		評

			1	項目	1		単 位 等	評価基準	事由
				露出	部または	露出可能部		容易に清掃ができる(但し、通常の使用時に洗浄液および すすぎ液に浸される部分を除く)	JFEA
		構造	清掃性	固定部				全ての固定された隙間は、1mm以下であるか、「JFEA付属書001Aに規定試験用アーム」の先端が届く十分な広さがある(但し、通常の使用時に洗浄液およびすすぎ液に浸される部分を除く)	JFEA
		1		除湿	装置の耳	対付の有無		製造者標準	JFEA
			除湿装置	凝縮水の流れ出し(有の場合)			ラックの上またはコンベア領域への流れ出さない	JFEA	
					着	脱		容易に取外し、清掃が可能である	JFEA
			洗浄部	ノズル	ゆって	き付けと正しい組みて		全ての食器に液を噴き付けられて、正しく組み立て直すことができる	JFEA
			ուլ գր		仕	仕上げすすぎ液の水質		飲料に適している	JFEA
				ラック	有	無		製造者標準	JFEA
		構		,,,,	I .	質(有の場合)		JFEA基準による材料である	JFEA
			接合部 タンク部			隙間がなくバリがないこと	JFEA		
		造) V) HI	材質				前出の材料(槽)と同材料である	JFEA
		1	取り外し部品	着脱				容易に取外し、正しく取り付けをおこない、清掃が可能である	JFEA
				カー	カーテン、類似用具			容易に取外し、目印により正しく取り付けをおこない、清掃 が可能である	JFEA
				循環水(循	使用のす	用の有無		製造者標準	JFEA
					ごみ受 け籠等	設置位置		取り外しが容易で、手の届く位置に設けてある	JFEA
					(循環水 の場合)	景水		噴射ノズル等の孔径より小さい(噴射ノズルの手前に、ストレーナ等を設ける場合を除く)	JFEA
食	食器洗		コンベア装置	洗浄とすすぎ液の噴き付け障害 防止対策				障害部分を最小限に構造である	JFEA
器	浄 機		(コンベア式 の場合)	コン・	ベアテー	ブルの内角	mm	半径3mm以上の曲面である	JFEA
洗净	(熱湯殺		<i>""</i>	洗浄止対		ぎ水の相互汚染防		カーテン等の遮へい物や十分な距離を取る等により相互汚 染の危険を最小限に抑えること	JFEA
機 1				方:				製造者標準(専用ポンプによる循環式、直結式)	評
	<u> </u>				電容	源 (相·電圧) 量	kW	製造者標準製造者標準	評評
		構		循環	電	動機の保護		液がたれても大丈夫な構造またはシールされているケース に収納している	JFEA
		造		伸択ンプ		水方式		自己排水若しくは8mm以上の排水弁を設けている	JFEA
		2	給水部			水弁の位置(弁有り 場合)		容易に手の届く位置である	JFEA

			:	項目			単 位 等	評 価 基 準	事由
				給水管の (本体に約		の一次側部分)		タンクや洗浄室内は通過していない	JFEA
					すすぎ液	反供給管		圧力計(または類似した計器)を装備している	JFEA
				水圧表示	類似した	計器の場合		製造者標準	評
				71	検圧口の	沙装備		仕上げすすぎ専用ポンプまたは循環水送水管には設ける	JFEA
				水および	蒸気弁の	浸水防止対策		洗浄機作動中に水に浸らない位置に取り付けている	JFEA
		その	他「材料及びそ	その使用」	及び「構造	īJ		業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房洗浄機基準(JFER007)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
			強度	通常使用 材	時の機器	および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造	者代表形式形	潘				製造者標準	評
		外形	寸 法				mm	製造者標準	評
		重量					kg	製造者標準	評
		殺菌	i方式	殺菌方式	4			熱湯殺菌方式である	評
				構造分類	į			コンベア式又はバッチ式	評
		加熱	!方式	熱源の種	類			製造者標準(ガス、電気)	評
				容量	NH /	it o + tur	kW	製造者標準	評
		立ち	消え安全装置			前の有無 比概要		電気加熱を除き標準装備	仕 評
		不完	个元至燃焼防止装直 [帯の有無 上概要		電気加熱を除き特記により装備	仕
		. 四. 数				前の有無		標準装備	評仕
	食器	迴熬		機能概要			ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び	評	
食	洗		槽	材質			鋼帯))	仕	
器	浄 機			板厚	板 厚		mm	1.0mm以上	仕
洗	へ 熱		外装、扉、網	材質				ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
	湯		板	板厚			mm	0.8mm以上	仕
浄 器 2	殺菌方式以		補強材	材質				ステンレス形鋼(JIS G 4317)、ステンレス鋼管製(JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管)) 又はステンレス鋼鈑 (JIS G 4305)によるステンレス鋼管製の補強材と同等の構造に形成	仕
	外)	料		板 厚			mm	1.0mm以上、形鋼は3.0mm以上	仕
	-			形状				ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			脚 部	厚さ		I	mm	1.0mm以上	仕
				アジャスタ	7—	材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA
						調整範囲	mm		評
		その	他「材料及びそ	その使用」	及び「構造	<u>-</u>		業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用厨房洗浄機基準(JFER007)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
			強度	通常使用 材	時の機器	および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA

		Į	頁 目		単 位 等	評価基準	事由
		製造者代表形式形	番			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
		庫内有効内容積			L	製造者標準	評
			電源(相・電圧)			製造者標準	評
		電源関係	容量			製造者標準	評
100			電源接続方法			製造者標準	評
低温		外側板および内側板	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
機	冷蔵		板 厚		mm	0.4mm以上	仕
器 1	庫	上部および外後板	材質			鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))、溶融亜鉛めっき鋼飯(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯))、溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))またはステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
			板 厚			0.4mm以上	仕
			仕上げ			鋼板製は塗装仕上げと(ステンレスとめっき鋼鈑を除く)	仕
			形状厚さ			ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		脚 部				1.0mm以上	仕
			アジャスター	材質 調整範囲	mm	標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	仕・JFEA 評
低		断熱材の構造				全ての面に注入発泡	仕
温 機 器 1	冷蔵庫	冷却性能	JIS B 8630(業務用の電気冷蔵 庫及び電気冷凍庫―特性および 試験方法)による			冷気自然対流方式:周囲温度30℃無負荷時に庫内温度が10℃以下に下がるのに要する時間が180分。周囲温度が35℃無負荷時に冷気強制循環方式(冷蔵庫Ⅰ形及び冷凍冷蔵庫Ⅰ形:庫内温度が10℃以下に下がるのに要する時間が120分冷気強制循環方式(冷蔵庫Ⅱ型及び冷凍冷蔵庫Ⅲ型:庫内温度が5℃以下に下がるのに要する時間が90分	仕
		附属品	外部から視認できる 温度表示装置	温度計又は		設ける	仕
		その他「材料及びそ	その使用」及び「構造」			業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用冷蔵庫・冷凍庫基準(JFER004)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
		強度	通常使用時の機器 材	および共通部		破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
		製造者代表形式形	番			製造者標準	評
		外形寸法			mm	製造者標準	評
		重量			kg	製造者標準	評
		庫内有効内容積			L	製造者標準	評

		I	頁 目		単 位 等	評価基準	事由
			電 源 (相·電圧)			製造者標準	評
		電源関係	容 量		kW	製造者標準	評
			電源接続方法			製造者標準	評
		外側板および内側	材質			ステンレス鋼板 (JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び 鋼帯))	仕
		板	板厚		mm	0.4mm以上	仕
低		上部および外後板	材質			鋼板製(JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯))、溶融亜鉛めっき鋼飯(JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯))、溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314(溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯),JIS G 3321(溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯))またはステンレス鋼板(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
温			板 厚		mm	0.4mm以上	仕
	冷		仕上げ			鋼板製は塗装仕上げと(ステンレスとめっき鋼鈑を除く)	仕
機器 2	庫		形状			ステンレス鋼管 (JIS G 3446(機械構造用ステンレス鋼鋼管))又は円筒(円錐状)に成形したステンレス鋼鈑製(JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯))	仕
		脚部	厚さ		mm	1.0mm以上	仕
				材質		標準取付(アジャスト足の表面を除く内部構造は亜鉛・アルミ	仕・JFEA
			アジャスター	調整範囲	mm	ニウムまたは合金、表面処理のある鋼材、合成樹脂)	評
		断熱材の構造		<u> </u>		全ての面に注入発泡	仕
		冷却性能	JIS B 8630(業務月庫及び電気冷凍庫試験方法)による		時	冷気自然対流方式:周囲温度30℃無負荷時に庫内温度が -5℃以下に下がるのに要する時間が180分。 周囲温度が35℃無負荷時に 庫内温度が-15℃以下に下がるのに要する時間が90分	仕
		附属品	外部から視認できる 温度表示装置	る温度計又は		設ける	仕
		その他「材料及びその使用」及び「構造」				業務用厨房設備機器共通基準(JFEA 001)及び業務用冷蔵庫・冷凍庫基準(JFER004)に規定された6. 「材料及びその使用」及び7. 「構造」の確項目	JFEA
		強 度 通常使用時の機器および共通部 材				破断、欠落、大きなゆがみが生じない	JFEA
4. 賞	資料	の提出					
	1)主	要使用材料のミルシ	/ート(材料証明書)				
		甲板		-		提出	評
		外側板				提出	評
		外後板				提出	評
		内側板 外装(食器洗浄機)				提出	評評
		<u>乔表(良裕优伊媛)</u> 扉				提出	評
		槽				提出	評
		脚部			1	提出	評
		炊飯鍋				提出	評
		釜				提出	評
		釜支持構造物				提出	評
	2) 製	· 提作図(構造図)				必要な図面があり、その内容が規定、仕様等を満足していること	評
		外形図または製作	図(構造図)			使用材料を明記	評
		付属品の単体図と	取付け図			取付け位置を記入	評
		安全装置の単体図	と取付け図			取付け位置を記入	評

項目	単 位 等	評 価 基 準	事由
3)銘板のコピー		提出	評
4)認証証票のコピー		提出	仕
5) 試験成績表		提出	評
6) カタログ		提出	評
5. 提 出 書 類			
1) カタログ		提出	評
2) 承諾図		提出	評評評
3) 完成図		提出	評
4) 取扱い説明書		提出	評
5)耐震計算書		提出	評設
備考			

評価基準の事由

仕: 標準仕様書又は改

設 : 設計基準の掲載事項による 評 : 評価事業による確認事項 JFEA : (一社)日本厨房工業会の規定による